

「健康・生活環境に関する質問票」質問22の修正について

1 これまでの経緯

質問22の生活環境整備の状況に関する回答については、無回答率が10%を超える傾向にある。

また、家庭で実施されている生活環境の整備状況について、質問21で「継続している項目」があると回答しているにも関わらず、質問22では「生活環境の整備は行っていない」と矛盾する回答をしている例が見られている。

そこで、昨年度より設問等の修正を検討してきた。

2 質問22の修正事項

当分科会や東京都大気汚染医療費助成検討委員会での意見を踏まえ、このとおり質問文を修正する。

(現行) 生活環境の整備を行ってから、発作回数の減少等、効果があったと感じられますか。

1 はい 2 いいえ 3 生活環境の整備は行っていない

(新) (質問21で現在継続している項目のいずれかに○をつけた方にお尋ねします) ぜん息と診断されてから、ご家庭で生活環境の整備をしたことで、症状の出現回数が減少した等効果があったと感じられますか。

1 はい 2 いいえ

参考：平成30年度にあった当該設問に対する意見

- 発作ではなく、症状の発現等の方が適切ではないか
- 最後の方の質問であり、質問の矛盾率が大幅に減らないこともある
- ぜん息患者にとって益のあるデータを出してほしい 等

3 反映時期

令和3年度より